

「農業分野における未利用資源の利活用に関する実態及び展望についての調査」 仕様書

1. 件名: 「農業分野における未利用資源の利活用に関する実態及び展望についての調査」

2. 調査の目的:

本調査は、「農業分野での再資源化が想定される廃棄物あるいは廃棄物由来再生品」(循環可能農業資源)の現状を把握し、その利活用による資源循環型社会の構築に向けた基礎情報を収集・分析することを目的とする。特に、下水処理水からの回収リンに着目し、新たな農業資材としての事業可能性や、静岡県内全体での資源循環を確立することによる有益性を明らかにする。

3. 調査項目:

以下の項目を含む調査を遂行するものとする。

(1) 「農業分野での再資源化が想定される廃棄物あるいは廃棄物由来再生品」(循環可能農業資源)の発生状況や再資源化の現状調査:

主に文献調査を想定

- ① 国内の循環可能農業資源の種類、発生状況の現状
- ② 国内の循環可能農業資源の再資源化(堆肥化、飼料化、バイオマスエネルギー利用など)の取り組み事例の収集・分析(特に有益性や経済性といった観点での情報に留意し、関連情報があれば収集)
- ③ 循環可能農業資源としてのリンの重要性(農業的、経済的などについての多角的な評価)
- ④ 循環可能農業資源を再資源化する際の課題や潜在力(ポテンシャル)(技術的、制度的な課題と将来性)

(2) 下水処理水からの回収リンを活用した新たな農業資材の事業性調査:

主に文献調査を想定

- ① 下水処理水からのリン回収技術及びその活用事例(東京都、横浜市など6か所程度)
- ② 回収リンを原料とした新たな農業資材の製造・利用に関する技術的、経済的な実現可能性
- ③ 静岡県内での、回収リンの農業資材としての事業化に向けた課題、リスクの抽出(技術的実現性、経済的採算性、社会受容など)

(3) 他自治体におけるリン利活用に関する実態調査:

文献調査および実地調査を想定

- ① リン資源の回収・利活用に積極的に取り組んでいる他自治体の事例(制度設計、技術導入、事業モデルなど)
- ② 成功事例及び断念した事例の分析

(4) 静岡県内で資源循環を確立することによる有益性調査:

- ① 「循環可能農業資源や下水処理由来リンの資源循環」が県経済、環境、地域社会にもたらす潜在的な効果(ポテンシャル)の評価(定量的・定性的双方を含む)
- ② (1)―(3)を踏まえた「循環可能農業資源や下水処理由来リンの資源循環」に向けた、全体と

しての課題の抽出と分析および解決策の提案

- (5) 「循環可能農業資源や下水処理由来リンの資源循環」の静岡県への実装ステップの提案(研究開発、実証試験、制度整備、プレイヤー、普及方法など)

4. 調査期間

契約締結日から2025年12月末までとする(契約時に別途協議)

5. 報告書について

- ・調査項目(4)について、9月末までに中間報告書を提出すること。
- ・最終報告書は12月末までに提出すること。